



教材・教具名	(木製) すのこラック	
対象児童生徒	重複障害学級児童生徒	
制作のねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・現在、重複障害学級で使用されている敷布団・マットが直接、床に置かれていることに違和感を覚えた。そこで担任の先生とも相談し、立体的なラックを製作することにした。 ・敷布団・マット等の性質上、第一に通気性が良いこと。また、軽量で丈夫なことが望ましいと考え、木製のすのこラックを考案した。 ・当初、2段式と3段式を設計したが、1m弱の高さと敷布団・マット等のかさ張り具合を考慮し2段式が最適と考えた。 ・因みに1m弱に設定したのは本体の軸となる角材の太さ(強度)と耐震対策の対象になっている固定用L型金具を使用しなくても良いからある。(固定しないことで移動が可能になる。) 	
使用法 及び 効果	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒が使用している敷布団・マット等が、現況よりもダニや害虫から守られ、衛生的にも改善が望める。 ・敷布団・マット等のサイズに合わせて製作することによって最小限度の収納スペースで管理場所が確保出来る。 ・連日使用しない敷布団・マット等も安心して保管ができ、収納の際も簡単に出し入れが出来る。 	
作り方	<ul style="list-style-type: none"> *今回、技術室の木工機械と在庫の木材を利用し作製したが、実質の材料費は3千円位である。 ・自動丸ノコ盤で寸法通りの角材・板材を切断する。 ・自動カンナ盤で木材の表と裏を確認しながら、カンナ仕上げをする。 (*木材は表と裏でカンナを掛ける向きが逆である。) ・まず、すのこ部分から組み立てる。 ・本体部分を組み立てるにあたり、今回強度を保つためにL型金具を8箇所使用した。 ・児童生徒への事故防止対策として全ての角材・板材に丸みが出るような加工を施した。 ・表面の丸みのカットにはグラインダーを使用し、塗装は害の出にくい水性ニスを使用した。 	
使用に際しての留意点 その他	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒への配慮として全ての木材に丸みを持たせてはいるが、転倒防止のためにも出来る限り児童生徒は近づけないと言う配慮が欲しい。 ・また、床にキズが付かないように本体の底に1cm厚みのコルクが取り付けられている。但し、コルク自体が決して強い材質ではないので丁寧に扱って欲しい。 <p>◎今回、試作として製作しましたので、お気づきの点がありましたらアドバイスをお願いします。</p>	
<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>		

